

事務局：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2（新陽ビル7階）

TEL：03-5155-7576 FAX：03-5155-7578

E-mail jimu@jaeis.org <http://jaeis.org/>

日本情報科教育学会第5回全国大会の報告

第5回全国大会実行委員長 香山瑞恵（信州大学）

■はじめに

日本情報科教育学会第5回全国大会を信州長野市の信州大学工学部で、平成24年6月16、17日の2日間にわたり開催いたしました。これまでの全国大会は、第1回を滋賀大学（全国大会実行委員会委員長：松原伸一先生（滋賀大学））、第2回を九州工業大学（西野和典先生（九州工業大学））、第3回を日本大学（夜久竹夫先生（日本大学））、そして第4回を畿央大学（西端律子先生（畿央大学））で開催されております。そのため、今回の開催は中部北陸地区では初めての全国大会となります。

本大会は、長野県内の関係者の方々、そして長野県に接する7つの県（新潟、群馬、山梨、埼玉、岐阜、静岡、富山の各県）の関係者の方々にもあわせてご協力をいただき、11名の大会企画委員（委員長：西野和典先生）、および19名の大会実行委員、6名の学生アルバイトで運営いたしました。大会期間中には、2日間で、延べ人数370名の参加をいただきました（1日目167名、2日目36名の受付）。さらに、基調講演1件、招待講演1件、パネルディスカッションでの話題提供7件、口頭発表57件、ポスタ・デモンストレーション発表15件（ポスタ7件・デモンストレーション8件）の登壇をいただきました。

また、文部科学省、総務省をはじめ10団体からの後援、関係学会等6団体からの協賛、8社の企業様からの広告・展示をいただきました。さらに、立て看板とカンファレンスバックに関しましては、ながのコンベンションビューロからの支援をいただき、大会実行委員の永田奈央美先生（静岡産業大学）の協力で同大学の小林克司先生の指導の元、情報学部生が大会論文集の表紙をデザインしてくださいました。縦と横の連携をイメージした、オレンジと緑のデザインです。

ご協力をいただきました全てのみなさまに、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。



本号目次

第5回全国大会の報告・・・・・・・・・・	1	関東・東北支部設立総会のご案内・・・・・・・・・・	8
学会設立5周年記念フォーラムの報告・・・・・・・・・・	5		
第6回全国大会のご案内・・・・・・・・・・	6		
九州・中国・四国支部第2回研究会の報告・・・・・・・・	7		

第5回全国大会の報告

■大会テーマ

平成11年3月に告示された高等学校学習指導要領に、情報科の内容が初めて盛り込まれました。あれから13年が経とうとしています。情報科教育の成果の継続、またさらなる発展を意識した大会としたいと考え、大会テーマとして、「情報科教育の継続と発展 ～「横」の連携と「縦」の接続～」を掲げました。成果の継続およびさらなる発展のためには、情報科のみならず、それを取り巻く環境との連携も不可欠です。そこで、副題に「「横」の連携と「縦」の接続」という文言を含めました。なお、ここでの「横」とは、情報科に対する他の教科というような教科間の連携はもちろん、情報科を実践する高校に対する地方公共団体、保護者、地域住民、企業、メディアなど、社会全体の連携をも指しています。また、「縦」は、小・中学校教育、および大学や生涯教育への関係を指しています。

■教育実践者の参加を促す試み

より多くの情報科教育実践者の参加・発表を促進させる目的で、これまでの全国大会に引き続き、後援をいただきました組織の内、高等学校の教員が多く所属している組織の関係者については、大会への参加費を本学会会員と同様の扱いとすることといたしました。今回は、長野県教育委員会、長野市教育委員会、埼玉県高等学校情報教育研究会、静岡県高等学校教科「情報」教育研究会、岐阜県高等学校教育研究会情報部会、山梨県高等学校教育研究会情報科部会、全国専門学科「情報科」高等学校長会、全国高等学校情報教育研究会の各関係者様が該当します。これにより、ほぼ全国の情報科の先生方が本学会員と同様の扱いで大会に参加できるようになりました。

さらに、新規の企画として、これまでの「ポスタ発表」を拡大し、「ポスタ・デモンストレーション発表」を設けました。これは、情報科のための教材・教具、授業支援ツール等の関する「デモンストレーション」も含めた発表枠です。教育実践者の教材開発や教具の工夫を実演しながら説明いただく場、大会参加者が実際に手に取りながら開発者と議論いただく場となることを狙いました。「ポスタ・デモンストレーション発表」では、各発表をアピールいただく公式な場として、1件3分程度のブリーフプレゼンテーションをお願いいたしました。さらに、各発表1ページのロングアブストラクトの提出もお願いをし、論文集に掲載させていただくことといたしました。



■大会の様子

1日目午前中には、まず4会場に分かれての口頭発表4セッション、続いてポスタ・デモンストレーション発表を行いました。ポスタ・デモンストレーション発表では、全体のブリーフプレゼンテーションに続き、昨年度同様のコアタイムを設けたことで、ポスタ前での説明と議論、教材のデモンストレーションと議論が活発になされていました。



午後には、第5回総会に続き、岡本敏雄会長（電気通信大学）による基調講演「これからの情報科教育10年に期待するもの」が行われました。情報科教育を取り巻く社会・経済動向をふまえ、中学校段階からの独立した教科“情報”の設置、および高等学校段階での4単位の枠組みの必要性が強く指摘されました。

そして、文部科学省生涯学習政策局新井孝雄参事官による招待講演「教育の情報化の推進について」が行われました。国内施策および海外諸国の施策動向に関してご紹介をいただき、我が国としての情報教育の推進のビジョンをお示しいただきました。

これらの講演に続き、パネル討論Ⅰ「情報教育カリキュラムの体系化」が行われました。情報科をとりまく“縦の接続”を意識した企画です。西野和典先生の司会の元、文部科学省初等中等教育局永井克昇視学官、堀田龍也先生（玉川大学）、松原伸一先生、中條道雄先生（関西学院大学）からの話題提供をいただきました。ここでは、小学校及び中学校における「情報科」の導入に向けて、どのような準備が進められているか、また今後どのような準備が必要になるかが議論されました。小・中学校の情報教育の内容と高校情報科のカリキュラムを、どのように接続させて体系化するかの議論を通じて、初等中等教育の12年間を通じた情報教育カリキュラムの体系化に向けた道筋を検討する機会となりました。

また、口頭発表会場に挟まれる教室において、初日から企業展示を行いました。8社から9ブースご出展いただき、情報科の教科書や副読本、授業に活用できる教材・教具やコンテンツ、情報活用能力育成のためのテキスト、学習者の学びを蓄積する学習支援システムなど、様々な書籍の詳細・製品のデモンストレーションがありました。

夕刻からは長野駅近くのホテルに会場を変え、懇親会を開催しました。長野県産の日本酒とワインが各テーブルに振る舞われました。

2日目は、午前中に7セッション、午後4セッションの口頭発表が行われました。口頭発表の後には、開催校の信州大学から大石修治工学部長の挨拶があり、引き続き、パネル討論Ⅱ「大学入試と情報科 ～大学の最新動向と高校での対策～」が行われました（図8参照）。ここでは情報科をとりまく“横の連



携”を意識し、長野県内の高校の進路指導ご担当の先生4名にもご登壇をお願いいたしました。本学会での大学入試と情報科の関係に関する議論に、必ずしも情報科を専門としない立場で参画をいただき、「外からの目」を与えて

第5回全国大会の報告

いただきました。ここでは、岡本敏雄会長の司会の元、まず、長野県内の4つの高校の進路指導担当の先生に各校の進路の状況をふまえて、教科「情報」の授業の現状や、教科「情報」が大学入試センター試験の出題対象になった場合の影響などを率直にお話いただきました。その上で、萩谷昌巳先生（東京大学大学院）、渡辺博芳先生（帝京大学）、天良和男先生（東京都立小石川中等教育学校）から、近年の大学入試に取り入れられている「情報科入試」「プレゼン型入試」「課題解決型入試」「思考力型入試」の実施実績からみえてきたことと、大学としての将来展望、高校側での対策をご紹介いただきました。フロアとの議論をふまえて、岡本会長から「日本人の基礎学力の一つとしての“情報学力”を意識し、学会として“情報のコアコンピテンシー”の整理とそのための教育方法の体系化が急務である」こと、その上で「情報科教育者以外の方からも納得が得られる形にして情報科を大学入試センター試験に入れていきたい」という提言がなされました。

■おわりに

今回の全国大会は長野県という地方都市での開催でありましたが、過去の全国大会と比較して最大数である72件のご登壇をいただきました。情報科教育の活発化を反映した成果であると考えます。本大会での発表・議論が明日の情報科の糧となりますよう、願っております。周囲を、産業を、そして社会を巻き込んで成長・進化していく情報科、そして情報科教育、情報科教育者たらんことを。

最後に、実行委員会の不手際で、大会準備中および期間中におきまして、ご迷惑をおかけしたことが多々ございました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。



パネル討論Ⅱ

（上段左から岡本会長・4名の指定討論者、下段左から天良先生・渡辺先生・萩谷先生）

写真提供：日経BP社 日経パソコン編集 中野淳氏

学会設立5周年記念フォーラムの報告

企画委員会委員長 宮寺 庸造（東京学芸大学）

2012年12月23日をもって本学会設立5周年を迎えることができました。日頃の会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

本学会企画員会では、5周年を祝した記念フォーラムを12月22日（土）、日本大学 文理学部 百周年記念館にて開催させて頂きました。今回のフォーラムでは、「設立からの学会における情報科教育への取り組み等を振り返り、次への活動へ繋げる」ことを目標とし、下記の要領で開催しました。

今回は特に、本学会立ち上げからのご尽力と日頃大局的な視点からのご指導を賜っております、西之園晴夫先生に記念講演をお願いし、社会の変動に応じた情報教育の在り方についてのご講演を頂戴しました。設立5周年にふさわしいご講演に感謝申し上げます。その後、「情報科教育学会の5年を振り返り次の5年を描く」というテーマで、情報科教育の現場と教育行政の両方にご経験のある、関東、北陸、九州地区の先生をパネリストとしてお招きして、フロアを交えた討論が行われ、予定時間の100分を若干延長しつつ盛況に終了しました。

12月22日の忙しい時期にも関わらず、全国から79名の方々にお集まりいただき、フォーラムを盛り上げて下さいました。また、懇親会には45名の方々にご参加頂き、フォーラムに引き続き熱い意見交換がなされました。大盛況のもと設立5周年記念フォーラムが終えたこと、ご参加の皆様、ご関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

本フォーラムの開催に当たり、日本大学夜久研究室のご協力のもと、5周年記念フォーラム実行委員会を設置しました。以下に実行委員会のWebサイトを紹介します。

<http://www.yakulab.org/events/2012-12-22-JAEISForum5/>

本サイトから、西之園晴夫先生の記念講演のプレゼン資料がダウンロードできますので、ご活用頂ければ幸いです。

記

日時 2012年12月22日（土） 12:30～17:20

場所 日本大学 文理学部 百周年記念館

プログラム

- 12:00～12:30 受付
- 12:30～14:15 情報学教育関連学会等協議会【第2会議室】 進行：松原 伸一（滋賀大学：本学会副会長）
- 14:30 フォーラム開会【国際会議場】 司会：綾 皓二郎（石巻専修大学・本学会企画委員）
- 14:35～14:40 挨拶 日本情報科教育学会 会長 岡本 敏雄（電気通信大学大学院）
- 14:40～15:20 記念公演
 - タイトル：「もう一つの情報教育 ～社会の民主化における情報科学技術の可能性～」
 - 西之園 晴夫（NPO法人学習開発研究所：本学会顧問）
- 15:30～17:10 パネル討論会
 - テーマ：「情報科教育学会の5年を振り返り次の5年を描く」
 - 進行：西野 和典（九州工業大学：本学会副会長）
 - パネリスト：池田 勇（嘉麻市教育センター） 鹿野 利春（石川県立金沢二水高等学校） 柴田 功（神奈川県教育委員会）
 - 指定討論者：岡本 敏雄（電気通信大学大学院：本学会会長）
- 17:10～17:15 情報学教育関連学会等協議会報告
 - 松原 伸一（滋賀大学：協議会議長・本学会副会長）
- 17:15～17:20 会場担当挨拶 夜久 竹夫（日本大学・本学会企画委員）
- 17:20 閉会
- 17:30～19:00 懇親会【日本大学内食堂 カフェテリア・チェリー】
 - 司会：宮寺 庸造（東京学芸大学・本学会企画委員長）



以上

第6回全国大会のご案内

第6回全国大会 開催案内（速報）

日 程：2013年（平成25年）6月29日（土）・30日（日）
会 場：東海大学 高輪キャンパス（〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23）

日本情報科教育学会
全国大会企画委員会・実行委員会からのお知らせ

第6回全国大会Webサイト
<http://ictedu.u-tokai.ac.jp/jaeis2013/>



各種の期限について

発表の申込期限：2013年4月26日（金）
※定員になり次第，締め切らせていただきます。

講演論文の提出期限：2013年5月24日（金）厳守
※全ての発表（研究発表・ポスタ発表・デモンストレーション発表）が対象です。
それぞれ提出可能ページ数に制限があります。

参加の申込期限：2013年6月15日（土）
※発表申込者も対象です。当日の受付も可能としますが，
講演論文集を確実に入手したい場合は，期限までにお申込みください。

懇親会の申込期限：2013年6月15日（土）
※定員になり次第，締め切らせていただきます。

研究発表の申込みについて

1. 発表内容は，未発表のものとし，当委員会により認められたものとします。
2. 発表のテーマは，情報科教育に関わるものとします。
3. 登壇者は，本学会の正会員または学生会員とします
 - 1) 連名の発表者はその限りでない。
 - 2) 全国大会の受賞論文は，発表者全員が会員であることが条件となっている。
4. 発表（研究発表・ポスタ発表・デモンストレーション発表）の申込方法は，本学会第6回全国大会Webサイトからのみとなります。

日本情報科教育学会 事務局
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2 新陽ビル7階
TEL 03-5155-7576 / FAX 03-5155-7578
e-mail jumu@jaeis.org
URL <http://jaeis.org/>

九州・中国・四国支部 2012年度第1回研究会

九州・中国・四国支部事務局長 池田勇（嘉麻市教育センター）

2012年11月3日（祝）13時30分より日本文理大学湯布院研修所にて2012年度第1回研究会を開催し、45名が参加しました。研修会では、論文4件・デモ1件・ポスター9件の発表後、4テーマのラウンドテーブルに分かれ議論が行われました。研究会後の懇親会は34名で賑やかな時間となり、宿泊者は24名で、露天風呂に入りながらさらに意見交換が続きました。

「来年度もここで支部研究会を開催してほしい！」との要望が上がるくらい、2日間を通じて、食事・サービス・宿泊室等はすばらしいものでした。

会場をご提供いただきました日本文理大学及びご準備いただいた坪倉先生に感謝申し上げます。

記

日本情報科教育学会九州・中国・四国支部

2012年度第1回研究会プログラム

日時：11月3日（土・祝）13:30～18:00

会場：日本文理大学 湯布院研修所

13:30～15:00 開会行事

●論文発表

15:15～16:30 ●デモ・ポスター

ブリーフプレゼンテーション

●デモ・ポスター発表

（休憩）

16:40～17:40 ●ラウンドテーブル

①小・中の情報教育

②情報教育一般

③情報科教育

④大学生の交流

17:40～18:00 ●メーカー・販社等からの広報

閉会行事

19:00～ 夕食・懇親会（希望者）

論文・デモ・ポスター発表者名

●論文発表

1 松尾康德（麻生情報ビジネス専門学校）

2 津森伸一（近畿大学九州短期大学）

3 倉光貴子（NPO法人情報教育支援研究会）

4 中村星朗（NPO法人情報教育支援研究会）

●デモ発表

1 竹田正幸、池田大輔、脇田早苗、池内昌子
（九州大学大学院システム情報科学研究院）

●ポスター発表

1 岡本 忠洋（九州工業大学情報工学部）

2 作見 優樹（九州工業大学情報工学部）

3 山本真規子（九州工業大学情報工学部）

4 長 大祐（九州工業大学情報工学部）

5 高松 宗貴（九州工業大学情報工学部）

6 鈴木 計哉（九州工業大学情報工学部）

7 眞弓 哲青（九州工業大学情報工学部2年）

8 阿濱 茂樹（山口大学教育学部）

9 池田 勇（嘉麻市教育センター）



以上

関東・東北支部設立総会のご案内

下記の要領で日本情報科教育学会「関東・東北支部設立総会」を開催します。
皆様のご参加をお待ち申し上げます。

記

日 時：2013年3月16日（土） 14:00～17:00

場 所：日本大学文理学部 百周年記念館

プログラム(変更の可能性あり)

13:00～14:00 発起人会

14:00 開会

14:00～14:30 総会（支部規約と役員の承認）

14:30～14:40 挨拶

関東・東北支部 支部長

14:40～15:00 祝辞

日本情報科教育学会 会長 岡本 敏雄

15:20～15:50 記念講演

三浦 謙一（国立情報学研究所）

「（仮）スパコンの開発と日本の再生」

16:00～16:50 小講演 ～関東・東北支部に期待すること～

・生田 研一郎（中央大学杉並高等学校）

・齋藤 実（埼玉県立大宮高等学校）

・谷川 佳隆（千葉県立船橋芝山高等学校）

・天良 和男（東京都立小石川中等教育学校）

・夜久 竹夫（日本大学）

16:50 閉会

17:15～18:30 懇親会

以上

今後の詳細情報は、以下のWebサイトに公開予定です。

<http://yakulab.org/events/2013-03-16-JAEIS-Kanto-Tohoku-Setsuritsu/>

日本情報科教育学会ニューズレター No. 15 2013年02月01日

発行所 日本情報科教育学会事務局 <http://jaeis.org/>

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2（新陽ビル7階）

TEL: 03-5155-7576 FAX: 03-5155-7578 E-mail jimu@jaeis.org

発行責任者 広報委員会

委員長：西端律子（畿央大学） 副委員長：森本康彦（東京学芸大学）

委員：池田勇（嘉麻市教育センター）、鹿野利春（石川県立金沢二水高等学校）、

鷹岡亮（山口大学）、竹中章勝（清教学園中・高等学校）、

中西渉（名古屋高等学校）、布施泉（北海道大学）